

---

# 入学者の受入れに関する方針(アドミSSION・ポリシー)

## 1. 教育目的

和歌山大学システム工学部は、広範な教養及び理工学における複数領域の分野を横断する知識を身につけ、その知識を自ら活用することにより、広い視野から時代の要請に応え、産業・社会のニーズに即応できる実践力と創造性を持ち、課題解決のできる研究者や技術者を養成します。

## 2. 求める学生像

システム工学部は、理工系学部教育を学ぶために必要な基礎的な学力を備え、以下に示す要件を満たす人を求めます。

- (1) 理数系の基礎知識と問題解決能力を持ち、国際的なコミュニケーションに必要な英語力を有する人
- (2) 論理的思考力と多面的な分析能力により、複合化された複雑な課題を解決する能力を持つ人
- (3) 明確な目的意識を持ち、自らの将来を切り拓く意志を有する人

入学後には、自ら学び考える力をもち、以下の様な観点から、学術・産業研究を含む広範な理工系分野で活躍する自律的な高度技術者を目指すことを求めます。

- ・自分自身の思い描くキャリアパスを客観的に考え、それに応じた2つのメジャーを選択すること
- ・メジャーが提供する専門知識・技能を主体的に修得し、未来の職業人としての基礎力を高めること
- ・異なる知識や技能を、断片的にではなく体系化して身につけ、複雑な課題を解決する能力へと高めること

## 3. 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試 [前期日程] では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入試センター試験により、数学的思考力と英語の理解力を個別学力検査により評価し、入学者を選抜します。
  - (2) 一般入試 [後期日程] では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入試センター試験により、システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜します。
  - (3) 推薦入試では、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入試センター試験により、目的意識や学修意欲等を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜します。
  - (4) 私費外国人留学生特別入試では、日本に留学するためになされた学びの成果を日本留学試験、出願書類、面接により評価します。あわせて、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、日本語運用能力を面接により評価し、入学者を選抜します。
  - (5) 第3年次推薦編入学入試では、高等専門学校等での学修により身につけた理工系学部に関する専門知識・技能等を面接と出願書類により評価します。あわせて、目的意識や学修意欲等を面接により評価し、入学者を選抜します。
  - (6) 第3年次一般編入学入試では、高等専門学校等での学修により身につけた理工系学部に関する専門知識等を学力検査により評価します。あわせて、高等専門学校等での学修により身につけた理工系学部に関する専門知識・技能や目的意識、学修意欲等を面接により評価し、入学者を選抜します。
-

# 令和2年度 和歌山大学システム工学部推薦入試学生募集要項

本学部においては、学校長からの推薦に基づき、大学入試センター試験、面接及び調査書等を資料として判定する推薦入試の入学試験を実施します。

## 1. 募集人員

学 科	募集人員
シ ス テ ム 工 学 科	35名

合格者が募集人員に満たない場合には、その差の募集人員を前期日程の募集人員に含めて募集します。

## 2. 出願資格

次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者

### 【基礎資格】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校高等部を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (3) 高等専門学校3年次を令和2年3月までに修了見込みの者

### 【要件】

次のすべてに該当する者

- (1) 本学部が指定する令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(次ページ参照)を受験した者
- (2) 出身学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 学業成績が優秀で本学部での学習に強い意欲をもつ者
- (4) 合格した場合、入学することを確約できる者

## 3. 出願手続

### (1) 出願書類

①	志 願 票	本学部所定様式。大学入試センター発行の「令和2センター試験成績請求票(推薦 国公立推薦入試用)」を貼付してください。 また、志願票の裏面の所定欄に、検定料納入の際に金融機関又はコンビニエンスストアから交付される「振込金受付証明書(C票)」又は「収納証明書」を貼付してください。
②	受 験 票 ・ 写 真 票	本学部所定様式。写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
③	推 薦 書	本学部所定様式。出身学校長が作成してください。 (推薦理由は、ワープロ等での直接印字可。)
④	志 望 理 由 書	本学部所定様式。志願者の自筆に限ります。 文章だけで説明できない場合は、文章に加えて作品又は資料を添付することができます。
⑤	調 査 書	「令和2年度大学入学者選抜実施要項」で定める調査書の様式で出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 高等専門学校については、調査書に準じて作成してください。
⑥	宛 名 票	本学部所定様式。
⑦	「受験票在中」封筒	本学部所定封筒。志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手362円分を貼付してください。
⑧	入 学 検 定 料	17,000円(下記のいずれかの方法で納入してください。)
	【金融機関】	別添の振込依頼書により金融機関の窓口にてお振込ください。
	【コンビニエンスストア】	下記の支払期間中にお支払いください。 支払方法等につきましては、必ず下記ホームページでご確認ください。 【支払期間】 令和元年12月1日(日)午前0時～令和2年1月9日(木)午後3時まで 【支払方法等】 <a href="https://e-shiharai.net/">https://e-shiharai.net/</a> (右のQRコードからもアクセスできます)



(2) 出願期間

令和2年1月7日(火)～1月9日(木)の午後5時【必着】

(3) 出願方法

- ①出願書類は、志願者が1名の場合でも出身学校長の責任において、「書留・速達」にて郵送してください。封筒は各校で用意し、表面に「システム工学部推薦入試願書〇名分在中」と朱書きしてください。なお、志願者個人からの出願は受理しません。
- ②志願者の出願書類は個人ごとに書類在中封筒に封入し、各校の封筒に入れてください。
- ③作品又は資料を添付する場合には、出願書類とともに郵送してください。作品は破損しないように梱包してください。万一作品に破損や汚れが生じても本学は責任を負いません。(「推薦入試志望理由書記入要領」を参照)

(4) 出願書類等の提出先及び問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課学部支援室システム工学部係 電話 (073) 457-8021(直通)

4. 出願に関する注意事項

- (1) 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。
- (2) 出願書類に不備があるときは、受理できないことがありますので、十分点検の上、提出してください。
- (3) 出願書類は正確に記入してください。記入事項に偽りがあった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願後は、書類記載事項の書き換えは認めません。ただし、出願後に住所・受信場所に変更があった場合は、直ちに届け出てください。
- (5) 出願書類は、大学入試センター試験成績請求票を含めて、受理後、いかなる理由があっても返還しません。

5. 入試方法等

大学入試センター試験の成績、面接の結果及び出願書類により総合して行います。

(1) 入学者選抜実施教科・科目及び配点

学 科 名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		合 計
	教科	科 目 名 等	配 点	教 科・ 科目名等	配 点	
シ ス テ ム 工 学 科	国	国	200	面 接	600	1800
	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	100			
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	150			
	数	数I, 数I・数A から1	150			
	理	数II, 数II・数B, 簿, 情報 から1	150×2			
外	物, 化, 生, 地 から2	300				
	英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓 から1	1200				
		計 5教科7科目				

◎大学入試センター試験の利用教科・科目について

※外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。

※「地歴」「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

※大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。

(2) 入試期日及び実施場所 (注) 次頁に記載のとおり訂正があります。

期 日	教科・科目等	場 所
令和2年1月31日(金)	面 接	システム工学部

## 令和2年度 システム工学部推薦入試 学生募集要項【訂正】

募集要項3 ページ：「5. 入試方法等 (2)入試期日及び実施場所」に、下記のとおり追記があります。

期 日	教科・科目	場 所
令和2年1月31日(金) 予備日：令和2年2月1日(土)	面 接	システム工学部

※自然災害等により1月31日(金)に実施できないこととなった場合、翌日に順延して試験を実施します。

その場合は、下記の和歌山大学システム工学部 Twitter および和歌山大学システム工学部ホームページにてお知らせします。(Twitter に書き込みをいただいても返信はいたしかねます)

システム工学部 Twitter : @sysWakayamaUniv

システム工学部ホームページ : <https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/>

---

## 6. 受験上の注意

- (1) 本学受験票及び大学入試センター試験受験票を必ず携帯し、本学係員の請求があれば提示できるようにしてください。
- (2) 受験票で指定した時刻に和歌山大学北1号館(システム工学部)玄関ホールに集合してください。  
集合時刻に遅刻した者は、受験を放棄したものとみなす場合があります。
- (3) 公共交通機関の大幅な乱れや自然災害の影響等により、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、本学ホームページにてお知らせします。  
和歌山大学ホームページ「入試情報」 <https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>

---

## 7. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障がいのある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、学校長を通じて出願前にあらかじめ事前相談の申請をしてください。また、期限後の不慮の事故等による負傷者についても、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出て下さい。

点字等受験上の特別な準備を必要とする者については、内容によっては対応に時間を要しますのでできるだけ早い時期に事前相談の申請をしてください。

### (1) 相談期限

令和元年12月6日(金)まで

### (2) 相談及び申し出方法

事前に下記相談先まで電話連絡のうえ、申請書及び必要書類(診断書(写)、大学入試センター試験受験上の配慮申請時の診断書(写)、大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書(写)等)を提出してください。詳細な必要書類は申請時に指示します。

なお、場合により、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校等関係者と面談を行います。

### (3) 問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課学部支援室システム工学部係 電話 (073) 457-8021(直通)

---

## 8. 合格者の発表

令和2年2月9日(日) 午前10時

電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません

- ①合格者の受験番号を本学構内の掲示板に掲示するとともに、推薦学校長あてに合格発表掲示の写しを郵便で送付します。
- ②推薦入試合格者には、合格通知書及び関係書類を郵便で送付します。
- ③合格者については、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び受験番号並びに入学手続きに関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送付しますのでご了承ください。

---

## 9. 推薦入試に合格しなかった場合

- (1) 本学部の推薦入試に不合格となった場合は、(2)により出願した者に限り本学及び他の国公立大学・学部の一般入試を受験することができます。
  - (2) 本学部の推薦入試の合否が確定するのは、一般入試の出願期間後になるので、推薦入試の入学試験に合格しなかった場合に備えて、国公立大学・学部の一般入試の受験を希望する場合は、所定の手続きにより出願手続きをしておく必要があります。
-

## 10. 入学手続

合格者は、下記の入学手続期間内に入学手続を行ってください。入学手続の詳細については、選考結果通知の際に送付する『入学手続案内』でお知らせします。

### (1) 入学手続期間

令和2年2月18日(火) 9:30~17:00

ただし、やむを得ない理由により上記期日に手続ができない場合には、2月18日(火)17:00までに和歌山大学入試課(073-457-7117)に電話連絡があった者に限り、2月19日(水)正午まで受け付けます。

### (2) 入学手続に必要なもの

①	入 学 料	282,000円 (注) 入学料は本学所定の振込依頼書により、入学手続時までに納入してください。これについては、合格者に送付する入学手続案内で納入方法の詳細をお知らせします。
②	受 験 票	「本学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参してください。
③	合 格 通 知 書	本学より送付したものを。

※これらは、入学手続時に必要としますので、忘れないよう十分注意してください。

※上記の金額は、令和元年度のもので、令和2年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

## 11. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

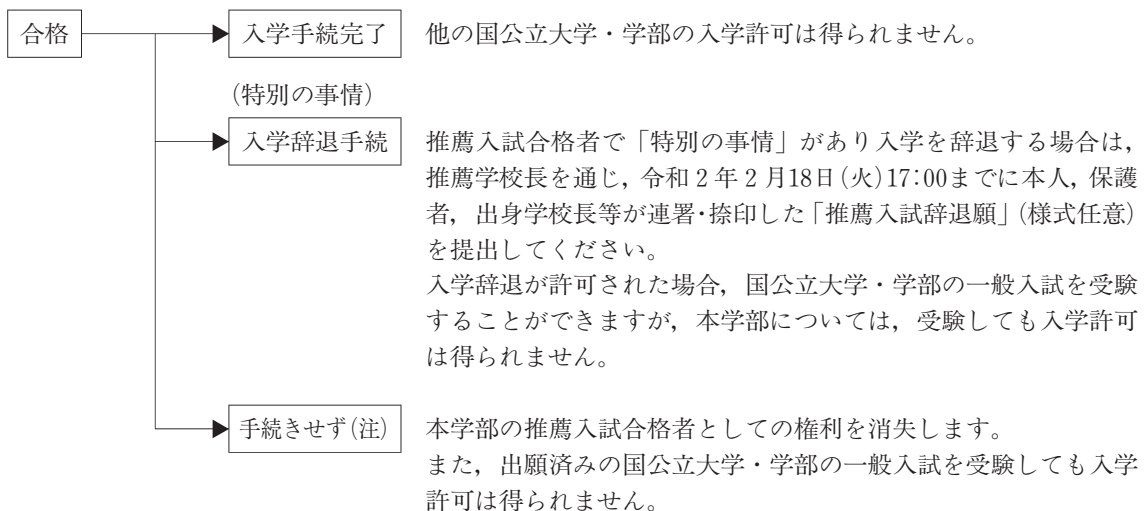
授業料 267,900円〈前期分〉 535,800円〈年額〉

上記記載の金額は、令和元年度のもので、令和2年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

(注) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 12. 入学手続に関する注意事項

合格した場合には、以降の手続きの取り方により、次のようになります。



(注) 「合格した場合、入学を確約できる」ことが出願要件です。合格したにもかかわらず、入学手続きをとらないことがないように注意してください。

---

## 13. 入試情報の開示及び入試成績の本人開示

### (1) 入試情報の開示

志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数

- ・ ホームページに開示

### (2) 入試成績の本人開示

#### ① 試験成績(得点・評価)

- ・ 開示方法等

◇ 受験者本人からの請求により開示します。

##### 【窓口での受付】

申請書(本学所定様式)に記入のうえ, 申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- a. 本学推薦入試受験票(原本)
- b. 大学入試センター試験受験票(原本)

##### 【郵送による受付】

受験者が遠隔地等の理由による場合は, 郵送により請求することも可能です。

請求する本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし, 必要書類を同封のうえ, 必ず受験者本人が郵便(特定記録)で申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- a. 長形3号の返信用封筒(簡易書留郵便料として402円分の切手を貼付し, 受験者本人あての住所・氏名を明記したもの)  
※郵便料金が改定された場合は, 改定後の定形郵便物(50g以内)に簡易書留料金をあわせて郵便料金分の切手を貼付してください。
- b. 申請書(本学所定様式)
- c. 本学推薦入試受験票(原本)
- d. 大学入試センター試験受験票(原本)

◇ 開示時期……………令和2年5月から6月の2か月間(郵送必着)

窓口での請求の場合は同期間内の月～水曜日(祝祭日を除く), 9時～17時

◇ 開示場所(請求先)…学務課学部支援室システム工学部係(下記問い合わせ先)

#### ② 調査書(成績評価及び出欠の記録)

- ・ 閲覧のみ可(開示時期・場所は試験成績の開示時期・場所に準じる。)

### (3) 入試情報の問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課学部支援室システム工学部係 電話 (073) 457-8021(直通)

---

## 14. その他

出願時のデータや, 試験実施結果, 入学手続きの状況等の個人データを入試に関する調査・研究のために利用することがありますので, 予めご了承願います。なお, これらの個人データを利用する場合も, 個人を特定する内容の資料や個人を特定できる資料を作成することはありません。

---

# 入学案内

## 学部の紹介

近年、科学技術の急速な発展に伴い、さまざまな工業技術が高度化・専門化してきました。また、一方で、エネルギー、環境、情報のようにグローバルに変化する課題から地域の産業の再生や振興といった課題にも対処することが要求されるようになってきました。前者は各専門分野の分化、後者は専門分野の統合・総合化を示唆しています。

このような状況の下にある産業界や社会の要請により柔軟に対応できるよう、システム工学部では平成27年、これまでの5学科(情報通信システム学科, 光メカトロニクス学科, 精密物質学科, 環境システム学科, デザイン情報学科)を1学科(システム工学科)へと改組をおこないました。システム工学科には、10教育研究領域(メジャー)を設定し、学生自らが将来を志向し、自らの興味や資質に見合った領域を主体的に選択することができます。具体的には、2つのメジャーを選択することによってコースを構成し、学科に相当する専門分野を学ぶことができます。これによりこれまでの学科の枠組みに固執することなく、広範かつ柔軟な専門性をもった応用力・適用力が養われることが期待されます。以下に、各メジャーの教育目的とともにいくつかのコースを示します。

### ・メジャー：機械電子制御

機械電子制御メジャーでは、幅広い視点から論理的思考をもって問題の解決にあたることができる技術者をめざして、機械工学、応用数学などの素養を身につけた後、制御工学、ロボット工学などのシステム論を用いた設計、運用に関する専門技術について学びます。

### ・メジャー：電子計測

電子計測メジャーでは、人々の生活や産業を支える情報のセンシングや処理システムを創造できる技術者の育成をめざして、電気電子工学や光工学の基礎と、計測デバイスや計測情報処理などの要素技術、さらにこれらを統合した計測システムについて学びます。

### ・メジャー：材料工学

材料工学メジャーでは、物質におけるナノスケールの世界を探求し、新しい材料やデバイスの開発に対する社会のニーズに柔軟に対応できる能力を身につけられるように、物性物理学、材料科学、電子工学にわたる専門分野を学びます。

### ・メジャー：化学

化学メジャーでは、化学に関わる基本的法則を学んで物質に関する理解の基盤を作った後、ナノレベルの世界における化学現象や法則、原子・電子レベルでの相互作用の発現や、新たな機能性物質の設計・開発などの専門技術について学びます。

### ・メジャー：知能情報学

知能情報学メジャーでは、人間とコンピュータの新たな関係が再構築される時代において、情報技術の素養を身につけた科学者や技術者として活躍できる人材となることを目標とし、人工知能やロボット、視覚情報処理、コンピュータグラフィクスなどについて学びます。

### ・メジャー：ネットワーク情報学

ネットワーク情報学メジャーでは、インターネット上に構築される、新たな情報ネットワーク社会において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、モバイル通信やWebシステム、ビッグデータの解析などについて学びます。

### ・メジャー：環境科学

環境科学メジャーでは、環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。



### ・メジャー：環境デザイン

環境デザインメジャーでは、人と自然のよりよい関係を具現化できる人材の育成をめざして、自然から生活空間にいたる環境を一体として捉え、自然再生、防災緑化、自然エネルギーなど自然と調和する技術、景観保全やまちづくり、建築設計などの計画技術について学びます。

### ・メジャー：メディアデザイン

メディアデザインメジャーでは、メディアデザインと情報の双方の知識を持つ人材の育成をめざして、情報技術としてのサウンドやビジュアルのデザイン、人間工学に基づくインタフェースデザイン、さらにその基礎となるデザイン制作や企画方法について学びます。

### ・メジャー：社会情報学

社会情報学メジャーでは、人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー，期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
ロボティクス	機械電子制御 電子計測	機械・電機，自動車，精密機械
ナノテクノロジー	材料工学 化学	半導体・電子部品，精密機器，化学・医薬品・化粧品， 素材
コンピュータサイエンス	知能情報学 ネットワーク情報学	情報・通信，ITサービス，電機
デザインシステム	社会情報学 メディアデザイン	情報・通信，ITサービス，出版・印刷
環境システム	環境デザイン 環境科学	公務員(土木，建築，造園)，建築・住宅，環境プラント
環境化学	環境科学 化学	環境職公務員，環境測量士
電気電子工学	材料工学 電子計測	電気電子メーカー，精密機械
知能機械システム	機械電子制御 知能情報学	自動車，電機，精密機械，生産機械，医療機器，情報通 信産業，ゲーム・アミューズメント
ネットワーク社会システム	ネットワーク情報学 社会情報学	情報通信，サービス産業，ゲーム・アミューズメント

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けます。これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科(教職大学院)に進学し理科の教員免許の取得を目指すプログラムです。

# 学 生 生 活

## 1. 入学料免除の制度\*

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額または半額を免除する制度があります。

- ①入学前1年以内に学資負担者が死亡した場合
- ②入学前1年以内に、本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

## 2. 入学料徴収猶予の制度\*

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学年度の7月末日(入学年度の7月末日が日曜日にあたる時は前々日まで、土曜日にあたる時は前日まで)を限度として入学料の納入を猶予する制度があります。

- ①入学前1年以内に学資負担者が死亡した場合
- ②入学前1年以内に、本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- ③経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀\*と認められる場合  
※1年次・編入学年次は入学試験合格をもって学業優秀とみなします。

## 3. 授業料免除の制度\*

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、各学期毎に、本人の申請に基づき選考の上、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

- ①入学前1年以内に学資負担者が死亡した場合
- ②入学前1年以内に、本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- ③経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀\*と認められる場合  
※1年次・編入学年次は入学試験合格をもって学業優秀とみなします。

\*上記1～3の制度は2019年度現在のものであり、今後制度の廃止も含め、変更されることがあります。  
詳細は授業料免除のホームページ<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>をご覧ください。

## 4. 奨学金

### (1) 日本学生支援機構の奨学金

(申込資格)

学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難である者。

(奨学生の決定)

本学が人物・学力・家計の申込基準を満たしている奨学金申込者を、日本学生支援機構に推薦します。同機構で審査の上、採用を決定します。

(奨学金の種類)

〈第一種奨学金(無利子)〉……貸与月額 自宅通学 20,000円, 30,000円, 45,000円から選択  
自宅外通学 20,000円, 30,000円, 40,000円, 51,000円から選択

※申込時の年収が一定額以上の場合、各区分の最高月額を選択できないことがあります。

〈第二種奨学金(有利子)〉……貸与月額 20,000円から120,000円のうち1万円単位で選択

(注)貸与月額については、2019年度実績であり変更されることがあります。

### (2) 地方公共団体等の奨学金

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体や各種団体等が扱っている育英奨学金制度があります。

これらの募集のほとんどが4～5月に集中しており、学生センターの掲示板に随時掲示しています。この他に、大学に直接募集のないものもありますので、各自、各団体や出身の都道府県等に問い合わせるようにしてください。

### (3) 家計急変奨学金

本学には、学資負担者の家計急変(失職、破産、倒産、病気、死亡もしくは地震・風水害の被害等)により修学を継続することが経済的に困難となった学生で、他の経済的支援が受けられない学生に対し、学費・生活費を援助することを目的とした奨学金制度があります。

- ・貸与額：無利子貸与とし、一時金10万円, 20万円, 30万円より申請者が選択する。
- ・返還期間：貸与された翌月から卒業後3年以内。
- ・申請に際しては、連帯保証人の選任が必要となります。

- ・申請後は審査の上、採用を決定します。

## 5. 学生傷害保険等

### (1) 学生教育研究災害傷害保険(学研災)

学研災は、学生が正課中、学校行事中、通学中、教育・研究のために大学施設内にいる間及び課外活動(インターンシップ、介護体験、教育実習、保育実習、ボランティア活動、クラブ活動)中等に不慮の事故にあい、傷害を受けたり、あるいはそれらが原因で後遺障害を負ったり、死亡した場合に、当該学生やその家族に保険金が支払われる全国的規模の補償制度です。

(注) 本学が学生全員の学研災の保険料を負担し、一括加入していますので、個々に加入する必要はありません。

### (2) 学研災付帯賠償責任保険(学研賠)【任意加入】

学研賠は、学研災に加えて任意に加入できる保険で、学生が正課中、学校行事中、課外活動中(注1)及びその往復等で、他人にけがを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより生ずる法律上の損害賠償を補償する制度です。

(注1) この保険での「課外活動」とは、大学の規則にのっとり所定の手続きにより、インターンシップまたはボランティア活動の実施を目的とした組織として承認を受けた学内学生団体が行うインターンシップまたはボランティア活動をいいます。これ以外のクラブ活動中の事故は保険金支払いの対象とはなりません。ただし、正課または学校行事に合わせてその日のクラブ活動(大学が禁じているもの等は除きます。)に参加する場合、その住居と活動場所となる施設の間を合理的な経路及び方法により移動中に行った行為は対象となる活動に含まれます。

### (3) 学研災付帯学生生活総合保険(学総)【任意加入】

学総は、学研災及び学研賠では補償が不足すると思われる場合に、学研災に加えて任意に加入できる保険で、学研災や学研賠では補償されない病気や日常生活でのケガ等についても補償されます。この保険に加入すれば、賠償責任を負った場合の補償を含んでいるため、学研賠に加入する必要はありません。

### (4) 学研災付帯海外留学保険(付帯海学)【任意加入】

付帯海学は、派遣留学や海外研修など、大学が関与する留学において、学研災に付帯するかたちで加入できる海外旅行保険です。私費留学やプライベートでの旅行は加入の対象となりませんのでご注意ください。

## 6. 学生寮

本学には、次のとおり学生寮が設置されています。

区 分	所 在 地	定員	1室定員	新入生入寮可能人員	備 考
学生寮(男子)	和歌山市栄谷930番地 (大学構内)	120人	1人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建
学生寮(女子)		50人	1人	約12人	

寄宿料は、月額4,300円となっています。なお、寄宿料は、和歌山大学学生寮管理運営規則の改正により変更することがあります。

寄宿料以外に、毎月寮生活に伴う**光熱水料、インターネット使用料等、15,000円程度**の負担があります。

## 7. 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合(073-456-4155)でも行っていますので、各自問い合わせてください。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000~45,000円程度です。

## 8. ノートパソコン等の情報端末の活用と準備について

本学では、履修登録やレポート及び卒業論文の作成・提出、授業資料の閲覧などでパソコンを使用する機会が多くあります。更なる教育環境の充実のため、個人所有のノートパソコンを活用する授業を実施していますので、授業開始日を目途に各自でご準備(購入等)願います。

詳細につきましては、下記ホームページにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/faculty/essential-pc.html>

QRコード



## 9. 学生生活に関する問合せ先

「ノートパソコン等の情報端末の活用と準備について」の問合せは、必ず指定の専用窓口電話番号にお問い合わせください。

(1)～(7)窓口

問 合 せ 事 項	問 合 せ 先
入学料免除, 入学料徴収猶予, 授業料免除	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7122
奨学金	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7128
学生傷害保険等	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7123
学生寮	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7132
その他	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7121

(8)専用窓口

問 合 せ 事 項	問 合 せ 先
ノートパソコン等の情報端末の活用と準備	学術情報センター(学術情報課) TEL 073-457-7177